

《安曇野市》 安曇野市社会福祉協議会ボランティアセンター堀金支所

〔センターの基本事項〕

所在地	〒399-8211 安曇野市堀金烏川2132-6			
電話 FAX	0263-73-5288	0263-73-5775		
電子メール	<a href="mailto:horigane@azuminoshakyo.or.jp">horigane@azuminoshakyo.or.jp</a>			
HPアドレス	<a href="http://azuminoshakyo.jp/">http://azuminoshakyo.jp/</a>			
職員数	正規	1名	嘱託	—
	臨時	—	その他	—
開所日と時間	平日 8:30～17:30 土日祝			
情報誌	あづみん 月1回発行			
来所者数	年間300名			

〔センターの運営方針・指針等〕

--	--

〔センターの拠点整備〕

活動場所の提供	<input type="radio"/>	無料、対象者：ボランティアセンター登録団体
フリースペースの設置	—	
資機材等の貸出	<input type="radio"/>	PC・プリンター(無償、施設内での利用のみ)
福祉体験器具等の貸出	<input type="radio"/>	エルダートライ(4セット)、UDグッズ(少量)、車椅子、自助具
登録グループの専用ポストの設置	—	
情報掲示板・チラシ提供スペースの設置	<input type="radio"/>	

〔ボランティアセンター運営委員会〕

組織の有無	無	規約	無
名称	—		
委員構成	—		
事業への関わり	—		
工夫点	—		
課題点	—		

〔ボランティア連絡協議会〕

組織の有無	有	規約	有
名称	安曇野市ボランティア連絡協議会堀金支部		
協議会構成	加入団体：5団体 加入者数：50人		
工夫点	—		
課題点	加入団体の減少		

〔財源〕

人 件 費	独自財源	—	
	共同募金	—	
	委託料・補助金	<input type="radio"/>	安曇野市補助金
	民間助成金	—	
	その他	—	

事 業 費	独自財源	—	
	共同募金	—	
	委託料・補助金	—	
	民間助成金	—	
	その他	—	



〔事業計画・センター運営等について〕

○事業計画について 毎年度の事業計画について、どのように計画を立案していますか？		担当部署・担当職員間で事業計画を立案している。
○センターにおける中長期計画について 独自の中長期計画・アクションプラン等を作成していますか？		—
○アドバイザー等について センターの運営や事業実施に関して、アドバイザー等の助言者はいますか？		—
○社協VC以外の中間支援機関について 社協が運営するVCとは別に、他団体が運営する中間支援機関が地域内にありますか？		名称：地域コーディネーター 運営団体：学校 内容：ボランティアコーディネート等
○連携するNPOや関係機関について VCの事業・運営において連携・協働しているNPOや関係機関等はありませんか？		
連携・協働先		連携・協働内容
公民館		事業の共同開催
学校		事業の共同開催
—		—
○センターの強みと弱みについて		
《強み》 小・中学校が各1校しかないため、教育機関との連携が取りやすい。 また、地域の中心地に位置していることと、行政機関や福祉施設、教育施設等が集中した地域である。		《弱み》 現状として登録団体が交流する機会が少ない。

○VC見取り図



○他市町村社協ボランティアセンターについて センター運営や事業実施に関して、他市町村社協VCに聞いてみたいことや知りたいことなど
---

## ボランティアセンターの重点事業について

事業名	学生ボランティア育成（サマーチャレンジボランティア、福祉教室、若者ボラ）
目的	ボランティアの高齢化が深刻化している中、学生ボランティアを発掘・育成していくことで、新たなニーズに対応出来るように、段階的に養成講座を行い、幅広い地域ニーズに対応していく。
開催頻度	随時
内容	<p>① びのびっこ広場 中学生がボランティア参加し、遊びを通じて福祉の心を養う。また、参加した小学生以下の子供たちが、中学生の楽しく活動する姿を見て、中学生になった子供たちがボランティアの楽しさを感じる。</p> <p>② マーチャレンジボランティア 親しみやすいテーマを設定し、小学校4年生～中学3年生を対象にボランティアの導入として、楽しみながら身近な活動体験をしている。</p> <p>③ 祉教室 対象は②と同様。②よりワンステップ踏み込んだ内容で1年間活動する。</p> <p>④若者ボランティア ③を体験した子供たちが自分たちの意思で加入し、自分たちで何が出来るのか、何をしたいのか考え、活動していく。対象は中学生～一般</p>
対象者	上記内容に記載
企画のポイント 事業成果	・段階的に行うことで、自分にあった事業を選択することが出来ている。
参加者の声や その後の動き など	・無理せず自分たちのペースで行うことで、積極的に次のステップを選択し、最終段階の若者ボランティアに加入し活動している。

### 事業の様子

上記重点事業以外でも



ひとり暮らし高齢者を対象に  
工作教室をしている様子

地区ボランティア（ボラ連登録あり）の皆さんが  
地区の高齢者を対象に弁当配食をしています。

